



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内  
Tel 0532-53-7211 URL <http://www.asakuragawa.net>  
Fax 0532-53-7210 E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)

## 平成 23 年度朝倉川育水フォーラム

# 定時総会開催

平成 23 年 6 月 4 日（土）カリオンビルで 23 年度定時総会が開催されました。

22 年度事業報告、決算報告、役員選任、23 年度事業計画・予算案について討議可決されました。

身近な生き物たちに目を向け、川を通じて豊かな自然をはぐくみ、育てていく地道な活動をこれからも続けていきます。（2 頁に関連記事）  
ご協力、ご援助これからもよろしくお願いいたします。



<総会>



<講演会>  
神戸 敦氏

## 「育水」を商標登録

「育水」は朝倉川育水フォーラムが考えた造語で、設立当初からの理念です。かつて、川への施策は治水、利水、親水を主眼としていました。いわゆる三面張りの工法は多くの自然や水辺のうるおいをなくしました。今、川は多様な植物や生き物を宿す水を育む場所として見直しがされています。

「育水」の商標登録が認可されました。（かわになコラムに詳細）

# 第15回530大会開催

4月16日（土）第15回530大会が開催されました。

参加人数は2,700人超。69団体（住民団体18、学校7、行政6企業21、市民団体17）

回収ゴミは2.6トン（昨年3.2トン）

今年は桜丘高校生物部による朝倉川「ミニ水族館」の展示がありました。当日朝倉川の生き物を採取して、ゴミゼロ大会に参加したみなさんに観察してもらい、大好評でした。

併催イベントとして昨年、一昨年に続き第5回「朝倉川へのメッセージ」を募集いたしました。小中学生を中心に266通もの作品が寄せられ、関心の高さを感じます。

優秀作品を3頁に発表）

たくさんの方が川に集い、触れ、エピソードが生まれ、人とのささやかな繋がりもこんな取り組みの中から、根付いていくようです。



<開会式>



<ミニ水族館>

## 平成 23 年度 定時総会報告

### 総 会

23 年度総会が開催されました。（一面に関連記事）

昨年も様々な活動を展開しました。530 大会では、桜丘高校生物部によるミニ水族館を開設し、朝倉川の生き物をじっくり見てもらい好評でした。

植樹メンテナンス大会は昨年好評だった木の名札付けを行いました。

ビオトープでは昨年に引き続き豊橋東ライオンズクラブ、豊橋ローターアクトクラブとの協働事業を実施し交流を深めました。猪がビオトープまでやってきて、収穫間近のサツマイモや米を食べられてしまいましたが、工夫しておいしい収穫祭を行いました。

2 つの小学校からビオトープとほたるの勉強の講師に招かれました。

桜丘中学校では半年間、毎週ビオトープで総合学習を行い、講師等の活動をしています。活動報告、活動計画の討議終了後、講演会、表彰式を行い総会を終了しました。

### \* 講演会

愛知県環境審議専門調査員の神戸敦氏より「弓張山地の哺乳類」と題して、アナグマやタヌキの暮らしぶりを話していただきました。参加者から意外なところに棲んでいる動物に興味を覚え、おもしろかった。見たことがないので是非見てみたい。などと好評でした。

### \* 530大会継続参加団体感謝状贈呈

多米東町 1 丁目自治会、多米東町 2 丁目自治会、多米消防団、豊橋ゆたか学園、ワルツ（株）蒲郡信用金庫東田支店、豊橋商工信用組合東田支店（敬称略）

### \* 「育水」パートナーシップ表彰

学校法人桜丘学園、豊橋市立嵩山小学校

### \* 朝倉川へのメッセージ優秀作品表彰

最優秀賞 4、優秀賞 5、入選 21、特別賞 1






### 活動方針

朝倉川育水フォーラムも設立して 16 年を迎えることが出来ました。これもひとえに会員をはじめ地域の方々の活動への理解とご協力の賜物です。このような自然環境を対象とする活動は、一朝一夕に成果の出るものではありません。また、成果が出たから終わりというもの

でもありません。「継続は力なり」続けていくということが大変重要なことと考えています

本年度も、数多くの事業を予定していますので宜しくお願いいたします。

 ビオトープづくり事業	多米ビオトープ管理棟整備、管理用倉庫の設置 炭焼き窯の整備とピザ窯の常設
 里山づくり事業	里山エリアの自然を色々な方々に親しんでいただくために、多米ビオトープも含んだエリアの周回性を促す案内表示の設置
朝倉川清掃事業	朝倉川を見つめる活動
 水辺の緑の回廊事業	県、市との協体制のもと、川縁への新たな企画をし、次なる形での事業を模索していく
調査研究事業	河川調査の報告書作成
ホタル飼育ネットワーク事業	飼育ボランティアや小中学校と連携をとり、ホテルの飼育観察活動を実施する
PR啓発事業	行政・NPO を中心とした外部視察の受け入れを行う



# 朝倉川へのメッセージ

## 優秀作品発表

昨年に引き続き 530 大会の併催イベントとして、朝倉川への思いを 1 枚のハガキに絵や写真やイラストで描いて応募していただいたところ、今年は 266 点（昨年 205 点）もの作品が寄せられました。

その中から最優秀賞に選ばれた 4 作品を紹介します。



### ☆☆☆入選者一覧☆☆☆

**最優秀賞** 白井由雄 鈴木綾 田嶋佑奈 中村優希

**優秀賞** 天野穂乃香 大林里帆 鈴木梨以 古田剛 吉野由恵

**入選** 網倉美波 岩瀬楓 加藤海渡 加藤優美奈 河合恵比寿 河合薫子

河合仁実 黒柳杏月 河野百花 佐藤舞佳 柴田梨圭

鈴木流香 玉井晴香 富田真理奈 内藤裕菜 中嶋七彩

萩原千晶 萩本欣美 堀田和香奈 森一葉 渡辺雅恵

**特別賞** 河合冴栄草

(敬称略)

田嶋佑奈さん



中村優希さん



鈴木綾さん



白井由雄さん



入選作品は  
朝倉川のHPで  
ご覧  
なれます

### かわになコラム

#### 「育水」の商標登録によせて

理事長 高橋豊彦

平成 23 年 3 月 25 日に私どもの団体の名称にもなっています「育水」という言葉の商標登録の認可がなされました。この言葉は、平成 7 年につくられた「設立趣意書」にも「治水・利水、親水を経て、これからは、多様な植物や生き物を宿す水を育むことに変わっていきます。私たちはこれを育水（いくすい）と呼びます。」という一文が記されています。つまり、この言葉には「水」を育む主体である人がどのように「水」に対して関わっていくかという・・・「人」や「社会」のありかたそのものという意味が込められています。

「育」つかった言葉には、知育、徳育、体育、教育などがありますが、これは、「人」そのものを育てたりという意味合いがつよく「人が・・・」ではなく「人に・・・」という性格のものかと思えます。

この「育水」という言葉は、常に「私が、・・・」という主語で考える言葉だと思えます。ましてや、朝倉川育水フォーラム以外がこの言葉を使用することを、拒んだり、阻んだりする趣旨のものではありません。

「水」を取り巻く環境は、非常に複雑で難しい部分があることも事実です、それらに対して、感情や情緒に流されず、一緒に考えることのできる仲間が一人でも増えることを期待しています。



# 朝倉川探検隊募集



と き 7月24日(日)  
 時 間 10時~11時30分ころ  
 と ころ 競輪場前  
 内 容 水生生物調査  
 参加費 無料  
 持ち物 タモ、バケツなど  
 ぬれてもいい服装



※お申込み、問い合わせは朝倉川事務局まで

## 多米のビオトープ

### 桜丘中学校総合学習

桜丘中学校はビオトープに平成11年の起工式から関わり、以来12年間継続して1年生の総合学習の授業で取り組んできました。

例年まず一番最初は野草を食べる。ビオトープ内にあるヨモギやハコベ、タンポポ...毒草でないものは、何でも味わってみる。



その後はホタルやカワニナ、昆虫、野鳥の観察。草木染め、花炭作りや天然酵母のパンづくり等々。多彩な取り組みをしています。

2学期になるとまとめの授業に入り、11月にはグループ毎の発表会をしています。

4月から6月まで毎週木曜日午前中は、ビオトープはにぎわっています。



**ビオトープメンテナンス作業は**  
毎月第1土曜日午前中  
ちょっとのぞきに来て下さい。

## \*\*\*これからの予定\*\*\*

**7月24日(日) 朝倉川探検隊(生き物観察会)**

**8月6日(土) ビオトープ作業**

以降:9月3日

10月1日

11月5日 収穫祭

12月3日

10月

里山づくりを楽しむ会視察

11月5日(土)

里山・ビオトープ収穫祭



**11月19日(土) 第9回植樹メンテナンス大会**

**川と海のグリーン大作戦**



## 事務局だより...

### 会費納入のお願い

ご案内が遅くなり申し訳ありません。

23年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきました。

直接事務局までお持ちいただいても結構です。



## \* 全てのお申込み・お問い合わせは \*

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)